

平成 30 (2018) 年度 第 2 回 (通算第 4 回)  
研究ブランディング事業推進委員会 議事録

会 議 名	研究ブランディング事業推進委員会	委員長	等々力	副委員長	根本
	委員：田邊、廣田、矢崎、益山、山本、松尾、赤羽(研)、中村(礼)、 松島、柄山、中村(文)、近藤 協力員：水野、熊谷、飯澤、土井			欠席： 木藤 (出張)	
開催日時	平成 30 年 5 月 17 日	17:00~18:00	会場	4 号館大会議室	
議題・報告・連絡事項			審議・報告・連絡等の概要		
<p>第 3 回研究ブランディング事業推進委員会議事録の承認</p> <p>【審議事項】</p> <p>1. 5 月 24 日(木)のシンポジウムについて</p> <p>1) 現時点での参加者数</p> <p>2) さらなる参加者確保に向けて</p> <p>① 個別の企業に対する電話入れ</p> <p>② 学生の参加確認</p> <p>3) 当日の進行予定</p> <p>4) 当日の役割分担</p>			<p>第 3 回研究ブランディング事業推進委員会議事録の確認、承認がなされた。</p> <p>5 月 24 日に本学にて行われるシンポジウムについて、ブランディング事業推進室から進捗状況等、以下 6 点の報告・確認がなされた。</p> <p>5 月 16 日現在の参加者数が名簿をもとに紹介された。参加予定者は 89 名で、100 名程は見込まれている。</p> <p>さらなる参加者の確保に向けて、現状の推進室での動きや推進委員、協力員へのお願い等、以下 2 点が報告・確認された</p> <p>等々力委員長や根本副委員長の、知人などに個別訪問や、電話での紹介を行っている。また、推進委員、協力員にも積極的に知人の方に紹介していただけるよう、等々力委員長より依頼がなされた。</p> <p>根本ゼミ・田邊ゼミ、山本ゼミ、益山ゼミ、矢崎ゼミなどの学生に、シンポジウムへの参加を促してもらうよう、等々力委員長より依頼された。</p> <p>当日の進行予定について、別紙資料をもとに紹介、確認がなされた。</p> <p>個人での録音・撮影は一切禁止とし、司会者からの案内及び看板設置を行う。また、テーブルは 8 号館にある長机を使用し、必要に応じてテーブルクロスを用意することが提案された。</p> <p>当日の役割分担について、別紙資料をもとに紹介、確認がなされ、以下の点について、討議がなされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合司会は益山先生にお願いする。</li> <li>・人員不足のため、看板設置、展示用計測機器の移動、ステージチェンジの人員要請がなされ、看板設置、機器移動について</li> </ul>		

<p>5) 当日の駐車場・控室 等</p>	<p>は山本ゼミの学生7名にお願いすることとし、ステージチェンジに関しては手の空いているもので行うことを確認した</p> <p>駐車場については、第1駐車場・第2駐車場ともに開放するように、学生課に依頼済みである。ただし、学生駐車場には、どの程度の空きがあるのか、第2駐車場の奥を活用できないか、再度学生課と調整することとした。</p> <p>また、控室については、5号館の教室がすべて使われてしまっているため、特別には設けず、5号館のロビーなどを使うことが提案された。なお、控室については、推進室で再度検討することとなった。</p>
<p>6) その他</p>	<p>その他、以下の点について討議がなされた。</p> <p>展示用計測機器については、時間の問題などからデモンストレーションは行わず、シンポジウム開始前に、計測風景の動画を流すことが提案され、承認された。計測風景動画に関しては、推進室で撮影行うことが確認された。</p> <p>また、マイクの本数について、524教室で使用できるマイクの本数を確認し、当日の配置を再度検討していくことが確認された。</p>
<p>2. 第3回委員会において指摘のあった事項について</p> <p>1) 事業推進室とステーションの関係について</p> <p>2) 事業とステーションの料金について</p> <p>3) 繁忙期の人材確保について</p>	<p>第3回研究ブランディング事業推進委員会で指摘のあった事項について、等々力委員長より以下3点が報告され、それぞれ了承された。</p> <p>推進室は、地域健康ステーションの分室といった位置づけとする。</p> <p>事業については、第3回委員会にて討議された料金設定をもとに進めていくこととし、ステーションにおいては、その都度打ち合わせ、確認を行い、個別で値段設定をしていくこととする。</p> <p>繁忙期の人材確保については、管理栄養士・健康運動指導士などの人材をプールしておき、人材派遣という形式をとる。</p>
<p>3. ブランド調査の実施について</p> <p>4. 「私立大学研究ブランディング事業 平成29年度の進捗状況」へ</p>	<p>等々力委員長より、研究ブランディング事業の評価の一つとしてブランド調査実施の必要があることが紹介された。これについては、シンポジウム終了後、外部企業と進めていくことが提案され、確認された。</p> <p>等々力委員長より、「私立大学研究ブランディング事業 平成29年度の進捗状況」への記載とホームページでの公開について紹介</p>

<p>の記載とホームページでの公開について</p>	<p>され、5月末までに記載することが確認された。</p>
<p>【報告事項】</p>	
<p>1. 事業の取り組み状況について</p>	<p>審議事項1にて報告・討議された。</p>
<p>2. 研究倫理審査について</p>	<p>等々力委員長より、研究倫理審査については、木藤先生を中心に現在進行中であることが紹介、確認された。</p>
<p>3. 原村健康づくり推進事業について</p>	<p>等々力委員長より、原村役場との連携協定について、別紙資料をもとに報告がなされ、確認された。</p> <p>本事業は、ブランディング事業とは別枠ではあるが、実際に事業で実施していくサービスを提供していくことになる。</p>
<p>4. 松本商工会議所の「健康経営優良法人認定制度」（経済産業省）申請について</p>	<p>等々力委員長より、松本商工会議所にて「健康経営優良法人認定制度」について、市民タイムスの記事をもとに、紹介がなされた。松本市では、健康経営優良法人認定を受けた企業数が4社となっており、健康経営に対する意識が高まってきている。</p>
<p>5. その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロゴマークについて 推進室より、ブランディング事業ロゴマークについて紹介がなされた。</li> <li>・「体力測定車」のデザインについて 推進室より、松本大学研究ブランディング事業推進室「体力測定車」のデザイン等の紹介がなされ、以下3点について再度検討することが提案された。 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 「体力測定車」にロゴマークを入れる</li> <li>② 車側面の「松本大学」を「Matsumoto University」に変更</li> <li>③ スモークガラスに変更(機器の積込を行うため)</li> </ul> </li> </ul>
	<p style="text-align: right;">以上</p>

--	--